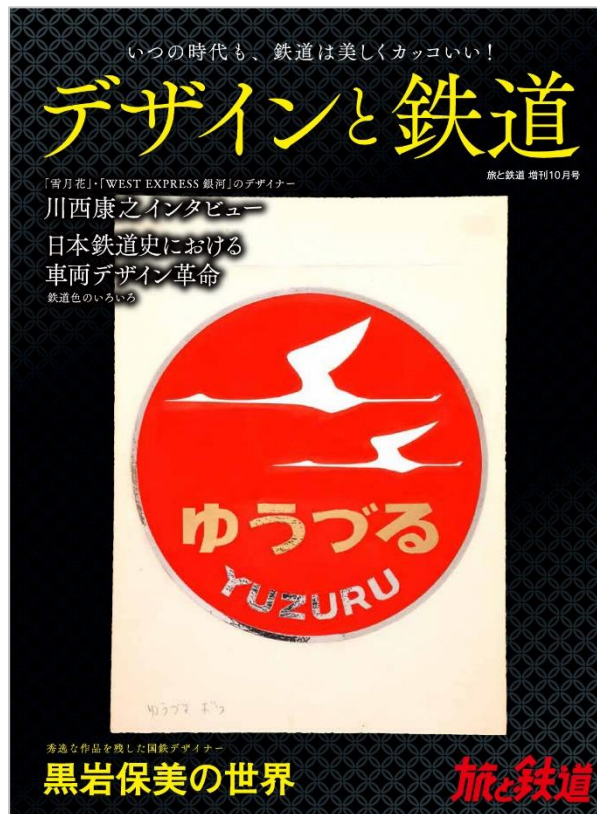


各 位

2023年8月21日
株式会社天夢人

いつの時代も美しくカッコいい、鉄道デザインの世界を特集！
黒岩保美氏手描きの「ゆうづる」トレインマーク原画が表紙の、
『旅と鉄道』2023年増刊10月号「デザインと鉄道」を発売

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:藤岡 功)は、2023年8月21日に、『旅と鉄道』2023年増刊10月号「デザインと鉄道」を刊行いたしました。



鉄道の世界に欠かせないデザイン。これまでデザインの斬新さで世の中を驚かせてきた歴代の名車両をクローズアップ。そのほか「雪月花」や「WEST EXPRESS 銀河」などの鉄道車両を手がけてきたデザイナー川西康之氏のインタビューを掲載するほか、国鉄時代のトレインマークを描いてきた黒岩保美氏のデザインの世界などで、鉄道デザインの美しさを取り上げます。

日本の鉄道史においてデザイン革命を巻き起こした名車両を解説

日本鉄道史における車両デザイン革命 時代を先導したデザイン車両たち



1957

流線形の採用で時代を変えた技術とデザイン要素が詰まった不朽の名車



小田急電鉄
初代3000形
「ロマンスカーSE」

■営業年：1957(昭和32)年～1992(平成4)年

この車両のデザインは、流線形の採用によって、従来の車両とは異なり、空気抵抗を大幅に低減し、高速走行を実現した。また、そのデザインは、当時のデザイン界に大きな影響を与えた。この車両は、日本の鉄道史において、デザイン革命を巻き起こした名車両の一つとして、後世に語り継がれている。

小田急 3000 形を筆頭に、国鉄 151 系や近鉄 10100 系、名鉄 7000 系などそれまでの鉄道の常識を覆すような革新的なデザインで話題となった車両を、昭和、平成、通勤・近郊電車に分けて紹介。時代背景や、その列車がその後の鉄道車両に与えた影響などを解説しています。

国鉄のデザイナーだった黒岩保美氏のデザインを振り返ります

生きつづける
黒岩保美
デザイン

ヘッドマーク

黒岩保美氏が手がけたデザインの数々を、貴重な原画とともに振り返ります。

国鉄のデザイナーとして活躍した黒岩保美氏は、多くの列車デザインに携わりました。その中でも、最も有名なデザインの一つとして、ゆうづるヘッドマークが挙げられます。このヘッドマークは、流線形のデザインを採用し、当時のデザイン界に大きな影響を与えました。

また、黒岩氏は、多くの列車のカラーリングやロゴデザインにも携わりました。その中でも、ゆうづるヘッドマークのデザインは、黒岩氏の代表作の一つとして、後世に語り継がれています。

黒岩保美氏のデザイン作品の一部を、貴重な原画とともに紹介します。

1971(昭和46)年11月14日
1976(昭和51)年
1979(昭和54)年
1982(昭和57)年
1983(昭和58)年
1987(昭和62)年
1992(平成4)年

国鉄のデザイナーとして活躍した黒岩保美氏は、多くの列車デザインに携わりました。その中でも、最も有名なデザインの一つとして、ゆうづるヘッドマークが挙げられます。このヘッドマークは、流線形のデザインを採用し、当時のデザイン界に大きな影響を与えました。

列車マークのデザインなどで知られる国鉄のデザイナーだった黒岩保美氏。現在まで生き続けている黒岩氏が手がけたデザインの数々を、貴重な原画とともに振り返ります。列車マークやグリーン車マーク、新幹線の完成予想図など、ファン必見の貴重な原画を掲載しています。

鉄道車両の色について深掘り解説しています

国鉄色カタログ

1979 (昭和54) 年公開された『国鉄車両関係色長巻物』(第2版)では、それぞれの色味のリエーションに考慮による対応を制定。塗装作業の効率化にも大きく貢献した。

色目表: 赤1号, 赤2号, 赤3号, 赤4号, 赤5号, 赤6号, 赤7号, 赤8号, 赤9号, 赤10号, 赤11号, 赤12号, 赤13号, 赤14号, 赤15号, 赤16号, 赤17号, 赤18号, 赤19号, 赤20号, 赤21号, 赤22号, 赤23号, 赤24号, 赤25号, 赤26号, 赤27号, 赤28号, 赤29号, 赤30号, 赤31号, 赤32号, 赤33号, 赤34号, 赤35号, 赤36号, 赤37号, 赤38号, 赤39号, 赤40号, 赤41号, 赤42号, 赤43号, 赤44号, 赤45号, 赤46号, 赤47号, 赤48号, 赤49号, 赤50号, 赤51号, 赤52号, 赤53号, 赤54号, 赤55号, 赤56号, 赤57号, 赤58号, 赤59号, 赤60号, 赤61号, 赤62号, 赤63号, 赤64号, 赤65号, 赤66号, 赤67号, 赤68号, 赤69号, 赤70号, 赤71号, 赤72号, 赤73号, 赤74号, 赤75号, 赤76号, 赤77号, 赤78号, 赤79号, 赤80号, 赤81号, 赤82号, 赤83号, 赤84号, 赤85号, 赤86号, 赤87号, 赤88号, 赤89号, 赤90号, 赤91号, 赤92号, 赤93号, 赤94号, 赤95号, 赤96号, 赤97号, 赤98号, 赤99号, 赤100号

国鉄色

昭和30年代に定めた。その深遠なる世界

国鉄色の100周年を記念して、国鉄色の歴史を振り返る。昭和30年代に定めた国鉄色は、その深遠なる世界を表現している。

国鉄色の100周年を記念して、国鉄色の歴史を振り返る。昭和30年代に定めた国鉄色は、その深遠なる世界を表現している。

国鉄色をはじめとした、鉄道車両の“色”についても徹底検証。時代による塗色の変遷、国鉄色、JR 地域色、私鉄各社のカラーリングとテーマごとに解説し、明治・大正期から現在までの鉄道色を特集しています。

鉄道を実際にデザインするデザイナー川西康之氏にインタビュー

人と人のつながりを生み出す

川西康之氏のデザイン

株式会社デザイン・デザイン、鉄道車両のデザインを専門とするデザイナー。鉄道車両のデザインを通じて、人と人のつながりを生み出す。

川西康之 (かわにし こうし) 1976年現在東京生まれ。『デザイン』のデザイナーとして活躍。鉄道車両のデザインを通じて、人と人のつながりを生み出す。

人と人のつながりを生み出す

川西康之 (かわにし こうし) 1976年現在東京生まれ。『デザイン』のデザイナーとして活躍。鉄道車両のデザインを通じて、人と人のつながりを生み出す。

えちごトキめき鉄道の「えちごトキめきリゾート雪月花」やJR 西日本の「WEST EXPRESS 銀河」、2024年デビュー予定の273系特急「やくも」などのデザイナーである川西康之氏にインタビュー。鉄道の世界におけるデザインについて、気になる車両のデザインコンセプトのほか、学生時代にアポナシで水戸岡鋭治氏を訪れた逸話などもお伺いしています。

JR 四国で「ものがたり」列車を手がけるデザイナーに迫ります

高級列車のデザインはなんと社員が担当！

JR 四国「ものがたり」列車のデザイナーに迫る！

JR 四国の観光列車を考えた、松岡哲也【ものがたり】シリーズ。この系列のデザイナーは、JR 四国の社内デザイナーだった。駅に響かせる列車づくりにおいて、地元ならではのデザインは、JR 四国ならではの強み。その強みを生かして、JR 四国が誇る観光列車「ものがたり」シリーズのデザインについて話を聞いた。

文：青島 洋介





Q1 これまでいろいろな車種が入ったデザインは、JR 四国でどのようなデザインが求められていますか？

JR 四国では、観光列車のデザインを担当する社員がいます。観光列車のデザインは、JR 四国ならではの強みを生かして、JR 四国が誇る観光列車「ものがたり」シリーズのデザインについて話を聞いた。









JR 四国が誇る観光列車「ものがたり」列車のデザインを一手に手がけてきたのは、意外にも JR 四国の社内デザイナーである松岡哲也氏。JR 四国らしいオンリーワンにこだわった列車デザインについて語ってもらっています。

【目次】

●日本鉄道史における車両デザイン革命 時代を先どったデザイン車両たち

<昭和中期>

- ・小田急電鉄初代 3000 形「ロマンスカー・SE」
- ・国鉄 151 系特急形電車「ビジネス特急」
- ・近畿日本鉄道 10100 系「新ビスタカー」
- ・名古屋鉄道 7000 系「パノラマカー」
- ・国鉄 0 系新幹線「夢の超特急」

<平成初期>

- ・JR 東日本 651 系特急形電車
- ・JR 九州 787 系・883 系・885 系特急形電車
- ・JR 西日本 500 系新幹線電車
- ・小田急電鉄 10000 形「ロマンスカー・HiSE」
- ・近畿日本鉄道 21000 系「アーバンライナー」
- ・東武鉄道 100 系「スペーシア」
- ・南海電鉄 50000 系「ラピート」

<通勤・近郊電車 デザイン革命車両の系譜>

- ・“湘南顔”前面 2 枚窓スタイル

- ・“東海形”パノラミックウインドウ
 - ・“非対称”貫通扉オフセット
 - ・“前面額縁”前窓延長／ブラックフェイス
- <まだある時代を先どったデザイン革命車両たち>

●生きつづける黒岩保美デザイン

●鉄道の車体塗色を徹底検証

- ・国内鉄道車両の塗色の変遷
- ・国鉄色その深遠なる世界
- ・国鉄色カタログ
- ・JR 地域色図鑑
- ・私鉄各社の多彩なカラーリング

●特別インタビュー 人と人のつながりを生み出す川西康之氏のデザイン

- ・川西康之氏が手がけた車両デザインの世界

●デザイナー別車両図鑑

- ・水戸岡 鋭治／榮久庵 憲司／岡部 憲明／奥山 清行
- ・個性的な建築を見に行こう！ デザイナーズ駅舎

●JR 四国「ものがたり」列車のデザイナーに迫る！

●令和を走る！ 個性派列車たち

●鉄道デザインの現場から

【書誌情報】

書名：『旅と鉄道』2023 年増刊 10 月号「デザインと鉄道」

仕様：A4 変型判・96 ページ

定価：1,980 円（本体 1,800 円＋税 10%）

発売日：2023 年 8 月 21 日

全国書店、オンライン書店の Amazon などで発売中。

<https://amzn.to/3CFxXPi>

【株式会社天夢人】 <https://www.temjin-g.co.jp/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道（奇数月 21 日発売）』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・

自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:真柄

Tel: 03-6837-4680 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://www.temjin-g.co.jp/>